

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		景観形成推進事業		担当課	都市計画課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間	平成18年度～
	施策	緑を生かした景観の形成		種別	法定＋任意
	基本事業	美しい都市景観の形成		市民協働	事業協力
予算科目コード		01-080401-05 単独	根拠法令・条例等	景観法，守谷市景観法の施行等に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているのか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
これからのまちづくりにおいては、恵まれた豊かな水辺や緑を保全するとともに、良好な景観を創出していくことが大切であるため、無秩序な市街化を抑制し、都市の健全な発展と計画的なまちづくりを進め良好な都市景観の形成を図るため。	「守谷市景観計画」に基づき、建築物を主体とした良好な景観形成の推進、快適な都市環境の創出を図るため、景観計画に示す基準による助言、指導、条例に基づく届出の受付、「守谷市景観審議会」の運営を行う。 市内に存在する多数の屋外広告物の管理を屋外広告物等管理システムにより行い、市内に無秩序に掲出された違反広告物に対して「守谷市屋外広告物条例」及び「守谷市違反広告物正指導要綱」に基づき計画的に正指導を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民共有の財産である良好な都市景観を守り、次世代に引き継ぐために「守谷市景観計画」に即した景観まちづくりを進めていく。 また、「守谷市屋外広告物条例」に基づき屋外広告物を適切に管理することにより、街並みの良好な環境の保持に努める。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民の景観意識を高め、美しい街並みを創出する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
条例違反広告物に対して是正指導を行っているが，特に屋外広告物の掲示者（店舗等の責任者）が屋外広告物条例の認知度が低く，違反行為と認識していない場合が多い。	12月　本町地区是正対象物件調査 12月～1月　是正通知発送 広報による周知
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
広報紙やホームページ等を利用し条例内容を周知する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	景観は市民共通の財産であり，今後も継続する必要がある。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
良好な景観の維持の為、屋外広告物是正指導を79件に対し是正指導を行った。その内22件については対応済み、51件が是正に向けた対応中である。	引き続き屋外広告物是正指導を行い、平成30年度は中央地区及び本町地区に是正指導を78件行い、その内24件については撤去や申請により、是正ができた。その他については、是正指導中である。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
是正指導に基づく許可件数（件）（件）	2.00	2.00	12.00	2.00	2.00
是正指導に基づく違反広告物削減件数	6.00	10.00	5.00	6.00	5.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	是正指導の効果により、違反広告物が減少している。一方、当該年度の是正指導区域外では、新たな是正指導対象物件がでてきている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	良好な都市景観維持の為、引き続き違反広告物の是正指導を行うとともに、景観に影響を与える建築物等に対し指導等を行う。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	84	2,780	2,785	3,359	3,300
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	1,177	1,454	1,706	1,312
	一般財源	84	1,603	1,331	1,653	1,988
正職員人工数（時間数）		466.00	1,410.00	681.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,911	5,781	2,843	0	0
トータルコスト		1,995	8,561	5,628	3,359	3,300

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		「野鳥の森散策路と鳥のみち」協働推進プロジェクト		担当課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間
	施策	緑を生かした景観の形成		種別
	基本事業	美しい都市景観の形成		市民協働
予算科目コード		01-020107-20 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、自然・緑と共生した環境を維持し、市内外の方が憩う場として拡充・活用を進め、市の魅力の向上、地域活性化に向けた事業を開始した。	市民ボランティア団体（守谷市観光協会）が作り上げてきた地域資源を活用して、将来の地方への持続的な人の流れを創出し、持続的な経済効果をもたらす環境を整える。行政、企業、市民等の協働作業により、鳥のみち（木道）の安全性、快適性を向上させて、つくばエクスプレス等の民間企業と連携した自然体験ツアーを開催する等、守谷の魅力を広域的に発信していく。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	[具体事業] ・木道の環境整備（更新） ・自然体験ツアー（つくばエクスプレス連携） ・パンフレット、HP等を活用したイメージアップ・PR事業 ・蛍生息環境の整備 ・小中学生の自然体験学習
地域資源「守谷野鳥のみち（旧野鳥の森散策路と鳥のみち）」を活用して、交流人口を増加させ、将来的な定住促進につながる流れを創出し、持続的な経済効果をもたらす環境整備を目指す。この将来像は、魅力ある付加価値となり、本市と同様に東京圏との近接性を持つ市区町村と差別化してU・I・Jターンを促進し、守谷市地方創生総合戦略に掲げる基本方針「『住まう』まち（住み続けることができるまち）・守谷」を実現することができる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民の景観意識を高め、美しい街並みを創出する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
・平成29年度から継続して協働作業に取組み、野鳥のみちの利用環境を強化されたが、持続的な人の流れを生み出す仕掛けが遅れている。	【～平成30年11月】 主に木道の更新や案内板の整備など、利用環境の強化のため市民・企業・行政が一体で協働作業を実施した。 【平成30年12月～】 ・野鳥のみちのプロモーション（PR） ①首都圏新都市鉄道(株)と調整して配布用パンフレットを各駅に設置し、都心に向けPRする。 ②市、野鳥のみち自然園のHP等で、WEBを活用したPRを行う。 ・自然体験ツアーや観察会を実施し、次年度も同事業を実施する。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
・事業に協力いただいている首都圏新都市鉄道(株)との連携を図り、野鳥のみちのプロモーションを行うなどソフト的な取組に注力する必要がある。	

次年度のコストの方向性（→その理由）

☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	市の魅力の向上、地域の活性化に向け、継続して事業を実施する必要がある。
--	-------------------------------------

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度を取組（評価、課題への対応）
守谷の魅力である「守谷野鳥のみち」を市内外の方々に知ってもらい、多くの方に訪れていただけるような地域経済の活性化に資する事業を、首都圏新都市鉄道（株）等の民間企業と連携して実施していく。	・木道の更新や案内板の整備など利用環境の強化のため、市民・企業・行政による協働作業の実施 ・野鳥のみちのプロモーション（PR） ①首都圏新都市鉄道(株)と調整して配布用パンフレットを各駅に設置 ②市、野鳥のみち自然園のHP等で、WEBを活用したPR ③首都圏新都市鉄道(株)の協力によりPRポスター及び車両中吊り広告によるPR ・木道更新完了により平成30年11月 開業式開催 ・首都圏新都市鉄道(株)と連携してウォーキングイベントを実施

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
野鳥のみちの利用者数（人）	0.00	0.00	20,000.00	22,000.00	25,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	木道更新が完了し、市内外から現地を訪れる人が日常的に増えている。 また、平成31年3月に開催した首都圏新都市鉄道(株)と連携したウォーキングイベントには850人の参加申込があり、交流人口の増加につながった。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持 □ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	引き続き、市民・企業・行政の協働により「守谷野鳥のみち」のPRを行い、市内外から多くの方に訪れてもらえるような地域経済の活性化に資する事業を実施する。 また、更なる緑化保全の推進と市のイメージアップを図るため、他団体等との連携を視野に入れる必要がある。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	8,931	529	1,535	0
	国・県支出金	0	4,465	264	767	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	265	768	0
	一般財源	0	4,466	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	272.00	313.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	1,115	1,307	0	0
トータルコスト		0	10,046	1,836	1,535	0

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		グリーンインフラ事務	担当課	企画課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成29年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	任意の事務
	基本事業	美しい都市景観の形成	市民協働	
予算科目コード		- -	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
（参考）基本事業の目指す姿	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	944.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	3,941	0	0
トータルコスト		0	0	3,941	0	0